

令和2年度上田市立西内小学校グランドデザイン

保護者・地域の願い

- 西内を愛し、誇りの持てる人になってほしい
- 思いやりのある人に育てほしい
- 子どもがのびのびと生活できるように、地域で見守っていききたい

建学の精神（147年の歴史）

- 一人一人がものの本質を究める教育（研性）
- 一人一人が心と身体を鍛える教育（研性）
- 社会人として守るべき道が学べる教育（彙倫）

上田市教育支援プラン

- 学力の定着と向上
- 関係機関と連携し未来を切り拓く力の育成
- 豊かな心と健やかな身体の育成
- すべての子どもの学びを支援
- 地域とともにある学校づくり
- 環境、防災・防犯教育の推進



学校教育目標

「知恵」と「ねばり」と「思いやり」

西内小の子どもたちの良さと課題

良さ

- 子どもらしい ○素直 ○やさしい ○人なつっこい
- ・学年の壁がなく、異年齢集団で仲よく遊ぶ
- ・お互いのことをよく知っている

課題

- 周りを気にする ○失敗をおそれる ○変化に弱い
- ・人の意見に従うことが多い、反対意見が言えない
- ・自分のよいところと言えない ・先生に頼る

子どもたちの育ちへの願い

- 自分の良さ・友だちの良さ・自分と友だちの違いがわかり、尊重で生きる子ども
- 感じて、考えて、チャレンジする子ども
- 自分を支え、応援してくれる人に感謝の気持ちをもてる子ども

本年度の方向（そのためにどんなことをやったらいいか）

- 異学年集団学習・連学年学習の充実
- 表現力の向上
- 多様な人との交流や地域の中で学ぶための地域との連携

特色ある教育活動の4本柱…地域学習・金管バンド活動・なかよし班活動・登り窯活動

<小規模校だからこそできる教育>

少人数を生かした教育

- 複式指導・連学年による合同授業の推進
 - ・「わかった」「おもしろい」と思える授業
 - ・つきたい力を明確にし、見通しをもてる「ねらい」の設定
 - ・子ども同士で追究が円滑に進む工夫
 - ・「出る」支援・「出ない」支援
 - ・「教える・教わる」学び合いの雰囲気をつくる
 - ・「振り返り」の時間を確保
 - 自分の考えが、学習の中ではっきりしたり、変わって来たりしたことを振り返る
- ひとり一人が主役になれる行事や活動
 - ・運動会や音楽祭など全校行事の運営の工夫
 - ・児童の発想を生かし、児童と共に創り上げる
 - ・出来映えではなく、過程を重視
- 学習したことを発信する機会をつくる
 - ・学習したことを聞いてもらう・見てもらうことで目的意識を持つ
 - ・緊張感のある場所を意図的につくる
- 他校との交流
 - ・近隣校との交流
 - ・ICTを利用した小規模校との交流
- ICT機器を利用した効果的な学習
 - ・てれたっち・タブレットの利用促進

<伝統を未来につなぐ教育>

金管バンド・なかよし班活動・登り窯活動

- 金管バンド活動
 - ・願う姿…異学年集団の中で音楽の楽しさに触れ、表現する喜びを味わう子ども
 - ・多くの人の前で発信できる場を設定し、自己肯定感を育てる。（地域のイベントや病院、敬老会等での演奏）
- 登り窯活動
 - ・粘土作品制作 ・薪割り活動
 - ・地域・PTAとの協働
- なかよし班（縦割り班）活動による仲間意識の醸成（なかよし集会・全校遠足・米作り・川遊び等）
 - ・異年齢集団活動を広げ、多様な人間関係の構築をはかる（なかよし清掃・給食、全校読書・ドリル等）
- 地域学習
 - 異年齢混合グループによる探究的な総合的学習の時間の構築
 - 西内小の学区にある、温泉・病院・自然（山・川）・歴史・花卉栽培・観光等、ふるさと学習の素材を、テーマごとの異年齢集団で、自分の考えた課題に向かって、個人でまたはグループで学習計画を立て学習できるような多様な学習形態で探究的な総合的学習を行う。
 - 地域をよく知る学習（生活科）
 - 学校運営委員会との協働

<一人一人を大切に、互いの良さを認め合う活動>

- 子ども全員のことをよく知る
全職員で全児童を見る
- 人権教育の充実
 - ・子どもへの見方を固定化しない。子どもが「友だちへの見方を固定化しない」工夫をする。
 - なかよし週間（5月）、なかよし旬間（11月）での取り組み
 - ・なかよし集会、なかよし標語、ポスター
 - ・人権教育に関わる授業、講演会
- 毎回の職員会に位置付ける「児童理解」
- いじめ防止委員会の設定（月2回）
- いじめアンケートの実施（学期ごとに実施）
- Q-U（アセス）の実施と考察（年2回）
- MIMの活用
- ほっとルーム（心の相談室）・にこにこなんでも相談室・相談ポストの活用
- 児童作品の常時掲示
- 合同授業（連学年等）

教師の姿勢

子どもが活躍できる授業・行事・活動を工夫する
子どもの新たな姿・成長を発見できる姿勢を持つ

学校を核にした
地域づくり

子どもたちの活動を
支えるために

大切な命を守る
ための防災・安全
教育の徹底

～地域・保護者と連携した開かれた学校作り～

PTA活動
（学級PTA、環境整備作業、資源回収等）

学校自己評価（児童・保護者・教師）
行事のアンケート（保護者・地域等）

学校運営委員会（信州型コミュニティスクール）

金管バンド保護者会

HP・学校だより等による情報発信

幼保小中の連携

学校支援ボランティア

（スクールガード隊、地域学習ボランティア等）

PDCAサイクルを生かした学校運営

参観日、学校閉校週間、各種行事への案内等